

授業概要

保育内容の歴史的な変遷を辿ったうえで、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の保育内容と保育の全体構造を理解するよう指導する。子どもの発達や子どもを理解する方法（観察・記録等）を学びながら、子どもの生活の中で養護と教育が一体的に行われることを教育・保育実践と関連づけて理解し、実際に活用できる実践力を養うことを目指す。幼稚園、保育所等の集団保育施設における保育内容のあり方について総合的に理解し、授業を通して子どもにとって有意義な保育内容とはどのようなものであるかを考えていく。

授業計画

第 1 回	幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園の比較、保育内容に関わる法規
第 2 回	保育内容の歴史的変遷
第 3 回	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の解説
第 4 回	幼稚園教育要領の求める保育内容
第 5 回	保育所保育指針の求める保育内容
第 6 回	幼保連携型認定こども園教育・保育要領の求める保育内容
第 7 回	5領域と保育の実態
第 8 回	家庭、地域、小学校との連携
第 9 回	保育方法と保育内容
第 10 回	子どもの発達と保育内容
第 11 回	子ども理解の方法と保育内容
第 12 回	保育者の役割
第 13 回	教育課程・保育課程の編成、指導・保育計画の概要
第 14 回	模擬保育の検討
第 15 回	保育現場における現代的課題
第 16 回	筆記試験

到達目標

- 1 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の内容についての理解と各章の関連を理解した上での幼児教育・保育の全体的な構造の把握
- 2 保育内容の歴史的変遷と保育内容の理解
- 3 子どもの発達及び子ども理解の方法の習得と、保育内容とのかかわりの理解
- 4 養護と教育が一体的に展開する保育についての理解
- 5 幼児教育・保育の多様なあり方についての理解

履修上の注意

幼稚園・保育所・認定こども園の教育・保育について、自分なりの考えや視点が持てるように、日常生活の中でも新聞等の関連記事に興味を持ってほしい。

予習・復習

予習・復習のためのレポートを課す場合がある。

評価方法

学期末試験 70%、授業中に課す簡単な課題への回答 10%、レポート 10%、受講態度 10%

テキスト

- ・教科書名：『最新保育資料集 2019』
- ・著者名：大豆生田啓友他
- ・出版社名：ミネルヴァ書房

その他必要に応じて適宜参考書を指示し、また資料を配布する。